第 52 回 緑化推進運営協議会

議　　案　　書

と　き　　平成３１年２月１９日（火）

ところ　　おおさかＡＴＣグリーンエコプラザ内
　　セミナールーム（ITM 棟 11 階）

公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

目　　次

1. 報告案件

森林ＥＳＤの推進に向けた取組みについて　1

平成 30 年度「緑の募金」収支決算見込みについて　2

2. 第１号議案

平成３１年度「緑の募金」事業計画案について　3

3. 第２号議案

平成３１年度「緑の募金」収支予算案について　6

報告案件

森林 ESD の推進に向けた取組みについて

当協会は、森林ESDの推進に関心を持つ諸団体と連携し、より多くの小学校・保育の現場で質の高い森林ESD（Education for Sustainable Development。持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）が実践される環境を整備するため、学習指導要領の改訂によりESD推進の機運が高まっているこの時期(2019～2021 年度)に、集中的に森林 ESD 推進に向けた取り組みを行いたいと考えています。

1）これまでの取組み

○「みどりづくりの輪支援事業」「「学校に森林と木の香りを」整備事業」の要領改訂

助成対象を、「子どもを対象にする活動」に限定。

審査基準として、「地域や専門家との連携など多くの人の関わりがあるか」、「子どもたちが主体的に関わっているか」などを追加。

○各種イベントの開催

年　月	タイトル	参加者
2017 年 12 月	大阪での学校教育における森林ESD推進キックオフミーティング	32 名（森林・自然環境系団体 14 団体 28 名、行政系 4 団体 4 名）
2018 年 1 月	森林ESD推進座談会	6 団体 6 名
2018 年 7 月	教員向け研修会（河内長野）	3 名（小学校教員 2、高専教員 1） その他：7 名（社会教育関係、地域おこし協力隊、コンサルタント 他）
2018 年 8 月	教員向け研修会（茨木）	10 名（小学校教員 8、大学教員(教育学部) 1、高専教員 1） その他：22 名（教員を目指す大学生 3、大学生(サークル)16、森林ボランティア 2、自然環境系団体 1）
2018 年 9 月	教員向け研修会ふり返り会	5 名（教員向け研修会運営者、大阪府森林組合他）
2019 年 1 月	森と自然を活用した保育・幼児教育を考えるシンポジウム	約 80 名（幼稚園・保育園関係者 6 割、森林里山関係者 2 割、行政関係者 2 割）

2）平成 31 年度以降の取組みについて

主に、以下の取組みを予定している。

・教員向けアンケートの実施　　森林ESD推進の阻害要因を明らかにし、解決策を提案するため、現在把握できていない学校や教員の現況・意向、また行政や教育委員会の取り組み実態を明らかにする

・教員向け研修会の開催　　森林ESDを体験し、その意義と効果について考える

・森林・里山関係者向け研修会の開催　　対象（児童向け、幼児向け）別に教育スキルを身に着ける

財源として、「地球環境基金」の助成金（現在申請中）や国土緑化推進機構による「緑と水の森林ファンド」を予定しています。これらが通らなかった場合、一部取組み内容を見直した上で、緑の募金の「普及啓発費」を活用することを考えています。

報告案件

平成30年度「緑の募金」収支決算見込み

単位：円

科目	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額	平成30年度 決算見込み	備考
Ⅰ．収入の部				
1.　緑の募金収入	19,777,104	23,000,000	20,700,000	
2.　助成金等収入	1,863,308	500,000	650,000	
3.　運用財産利息収入	9	1,000	1,000	
4.　雑収入	10,500	0	18,000	図書館催事参加費
当期収入合計（A）	21,650,921	23,501,000	21,369,000	
前期繰越収支差額　（B）	△ 1,033,620	△ 1,877,000	△1,994,000	
収入合計（C）＝（A）＋（B）	20,617,301	21,624,000	19,375,000	
Ⅱ．支出の部				
1.　緑の募金運動推進普及費				
募金資材整備費	3,054,165	3,500,000	2,974,000	
募金活動費	569,604	600,000	575,000	連絡調整事務費・会議費
小計	3,623,769	4,100,000	3,549,000	
2.　緑化推進・森林の整備事業費				
みどりづくりの輪推進費(使途指定事業)	2,632,870	1,700,000	1,676,000	生駒山系花屏風活動支援7件、堺7－3区
同　　(公募事業)	0	450,000	300,000	2件採択
「学校に森林と木の香りを」整備事業	363,180	1,000,000	761,000	4件採択
緑の少年団連盟育成事業費	700,000	900,000	750,000	府内緑の少年団6団
小計	3,696,050	4,050,000	3,487,000	
3.　緑化活動・普及啓発費				
緑化活動交付金	4,545,002	5,400,000	4,600,000	
ポスターコンクール等事業費	266,814	300,000	265,000	
広域的な森林整備・緑化の推進	1,103,280	1,190,000	1,132,000	中央交付金
普及啓発費	937,674	1,250,000	1,043,000	
広報活動費	150,000	150,000	150,000	図書館催事(4,5月)、クラフト出店(10,11月)、幼保育シンポジウム(1月)
小計	7,002,770	8,290,000	7,190,000	
4.　推進事務費	8,288,565	9,500,000	9,430,000	
当期支出合計（D）	22,611,154	25,940,000	23,656,000	
当期収支差額　（A）-（D）	△ 960,233	△ 2,439,000	△ 2,287,000	
次期繰越収支差額　（C）-（D）	△ 1,993,853	△ 4,316,000	△ 4,281,000	

第１号議案

平成 31 年度「緑の募金」事業計画（案）

2019 年緑の募金スローガン「緑の募金で進めよう SDG s 」、キャッチコピー「森林を守る、森林を活かす」等を踏まえ、「緑の募金」を活用し、以下に挙げる事業に取り組む。

① 生物多様性の保全を目的とした森林・里山の整備や身近な緑化活動の推進

② 間伐材など国産木材の利活用促進

③ 森林を活用した教育（森林 ESD 等）の普及

また、これら「緑の募金」事業の趣旨を府民に広く周知し、募金活動の活発化と募金額の増進を図る。

1.　緑の募金運動の推進普及（予算 3,450 千円）

（1）普及啓発資材の整備（予算 3,000 千円）

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2019 年秋用および 2020 年春用の募金資材を整備し、活用する。

・緑 の 羽 根：緑の募金運動のシンボルである緑の羽根を準備し、募金者に配布する。
・緑化バッジ：当協会オリジナルの緑の募金ピンバッジを大阪府立港南造形高等学校の協力を得て春と秋のキャンペーンに合わせて作成し、募金者に配布する。
・ち　ら　し：緑の募金に関して普及啓発のちらしを作成し、配布する。
・ポ ス タ ー：小中高等学校や公共施設、道の駅等に依頼し、緑の募金運動啓発ポスターを掲出する。
・募　金　箱：募金形態に合わせて、紙製、間伐材製、街頭募金向けストラップ付き型の 3 種類を整備する。

（2）募金活動の推進（予算 450 千円）

①　募金の呼びかけ

2019 年度の募金目標額を 20,000 千円とし、以下の団体へ協力依頼し、街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかける。

＜募金運動協力団体＞

	協力団体
街頭募金	日本ボーイスカウト大阪連盟、(一社)ガールスカウト大阪府連盟、緑の少年団（大阪府内 6 団）
学校募金	各市町村教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会 他
家庭募金	大阪府内 43 市町村
職場募金 企業募金等	大阪府、大阪府警察本部、近畿中国森林管理局、大阪商工会議所、大阪府木材連合会、大阪湾広域臨海環境整備センター、大阪商工信用金庫、大阪府生活協同組合連合会、大阪いずみ市民生活協同組合、ダイドードリンコ(株)　他

・企業の社会貢献活動（CSR）への考え方が成熟している中、企業からの使途指定寄付への要望にも応えていく。
・WEB から募金ができる「かざして募金」や家庭に眠る物品の寄付(お宝エイド)をホームページやイベント等で周知し、個人からの募金を呼びかける。

② 募金キャンペーンの実施

募金キャンペーン期間を設け、各団体による街頭募金を集中的に実施するとともに、府内各地で行われる各市町村や各種団体等の緑化関連イベント、府立図書館での催事などで、緑の募金活動を強化し、周知を図る。

＜キャンペーン期間＞　・春季　2019 年 3 月 1 日～5 月 31 日
　　・秋季　2019 年 9 月 1 日～10 月 31 日

2.　緑化推進・森林の整備（予算 3,850 千円）

（1）みどりづくりの輪活動支援事業（使途指定事業）（予算 1,650 千円）

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第 7-3 区における市民・NPO 等の府民参加で実施されている「共生の森づくり」活動や生駒花屏風支援事業へ助成する。

（2）みどりづくりの輪活動支援事業（公募事業）（予算 450 千円）

子どもたちによる、生物多様性につながる自然環境保全活動、森林整備活動、校庭等の緑化や学習園等の整備活動等に助成する。

（3）「学校に森林と木の香りを」整備事業（予算 1,000 千円）

子どもたちが森林の整備、国産木材の利用、緑の効用について理解を深めるために、教育施設の木質化や森林に関する学習の実施に助成する。

（4）緑の少年団連盟への支援（予算 750 千円）

子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識が高められるよう、大阪府緑の少年団連盟に対して活動助成を行う。

3.　緑化の活動と普及啓発（予算 6,850 千円）

（1）緑化事業等交付金（予算 4,600 千円）

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を進めるため、当該団体の申請により交付する。

（2）ポスターコンクール等の実施（予算 300 千円）

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールを開催し、優秀作品を表彰する。(公社)国土緑化推進機構で選定・製作されたポスターを、府内の学校・図書館などに配布する。

（3）広域的な森林整備・緑化の推進（予算 1,100 千円）

広域的な森林整備や緑化を推進に寄与するため、(公社)国土緑化推進機構に対して、中央交付

金として緑の募金の 3%相当額に 500 千円を加えた額を交付する。

（4） 普及啓発イベントの開催（予算 700 千円）

緑の募金によって進められる「生物多様性の保全」や「木材の利活用促進」、「森林 ESD の推進」の重要性について理解を深めるため、府民を対象としたイベントを開催する。

・ 府立図書館連携イベント（生物多様性及び木材の利活用に関するパネル展示および講演会、セミナーの開催）
・ 森林 ESD に関する研修会、シンポジウムの開催
・ 関連イベントへのクラフトブース出店
・ 緑の募金運動への功労者の表彰　　ほか

（5） 広報活動（予算 150 千円）

より多くの府民の参加により、募金目標額を達成するため、積極的な広報活動を行う。

・ ホームページ、Facebook の運用
・ 会報誌「みどりのトラスト」への掲載

4.　推進事業体制の整備（予算 6,500 千円）

緑の募金事業推進に伴う事務所経費および人件費、交通費など、必要な事務的経費を支出する。

－以上－

第2号議案

平成31年度「緑の募金」収支予算(案)

単位：千円

科目	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	前年度予算対比	備考
I. 収入の部				
1. 緑の募金収入	23,000	20,000	△ 3,000	
2. 助成金等収入	500	600	100	
3. 運用財産利息収入	1	0	△ 1	
4. 雑収入	0	50	50	図書館イベント参加費
当期収入合計（A）	23,501	20,650	△ 2,851	
前期繰越収支差額 （B）	△1,877			
収入合計（C）＝（A）＋（B）	21,624			
II. 支出の部				
1. 緑の募金運動推進普及費				
募金資材整備費	3,500	3,000	△ 500	
募金活動費	600	450	△ 150	連絡調整事務費の削減
小計	4,100	3,450	△ 650	
2. 緑化推進・森林の整備事業費				
みどりづくりの輪推進費（使途指定事業）	1,700	1,650	△ 50	生駒山系花屏風助成、堺7-3区共生の森
同　　（公募事業）	450	450	0	公募助成15万円を3件実施の見込み
「学校に森林と木の香りを」整備事業	1,000	1,000	0	公募助成20万円を5件実施の見込み
緑の少年団連盟育成事業費	900	750	△ 150	30年度見込みより
小計	4,050	3,850	△ 200	
3. 緑化活動・普及啓発費				
緑化活動交付金	5,400	4,600	△ 800	30年度見込みより
ポスターコンクール等事業費	300	300	0	
広域的な森林整備・緑化の推進費	1,190	1,100	△ 90	中央交付金 募金収入の3%+50万円
普及啓発費	1,250	700	△ 550	図書館連携イベント、クラフト出店、30周年記念講演、幼保シンポ等
広報活動費	150	150	0	ＨＰ、会報誌ほか
小計	8,290	6,850	△ 1,440	
4. 推進事務費	9,500	6,500	△ 3,000	
当期支出合計（D）	25,940	20,650	△ 5,290	
当期収支差額 （A）-（D）	△ 2,439			
次期繰越収支差額 （C）-（D）	△ 4,316			